

『おおがわら千本桜スポーツパーク（賑わい交流拠点施設）』 整備に関する住民懇談会





平成29年度

宮城県とのコラボ事業として
白石川右岸河川敷等の整備を開始

河川敷等整備事業
検討委員会

河川敷賑わい
プロジェクトチーム



令和2年度

白石川右岸河川敷等整備事業基本計画

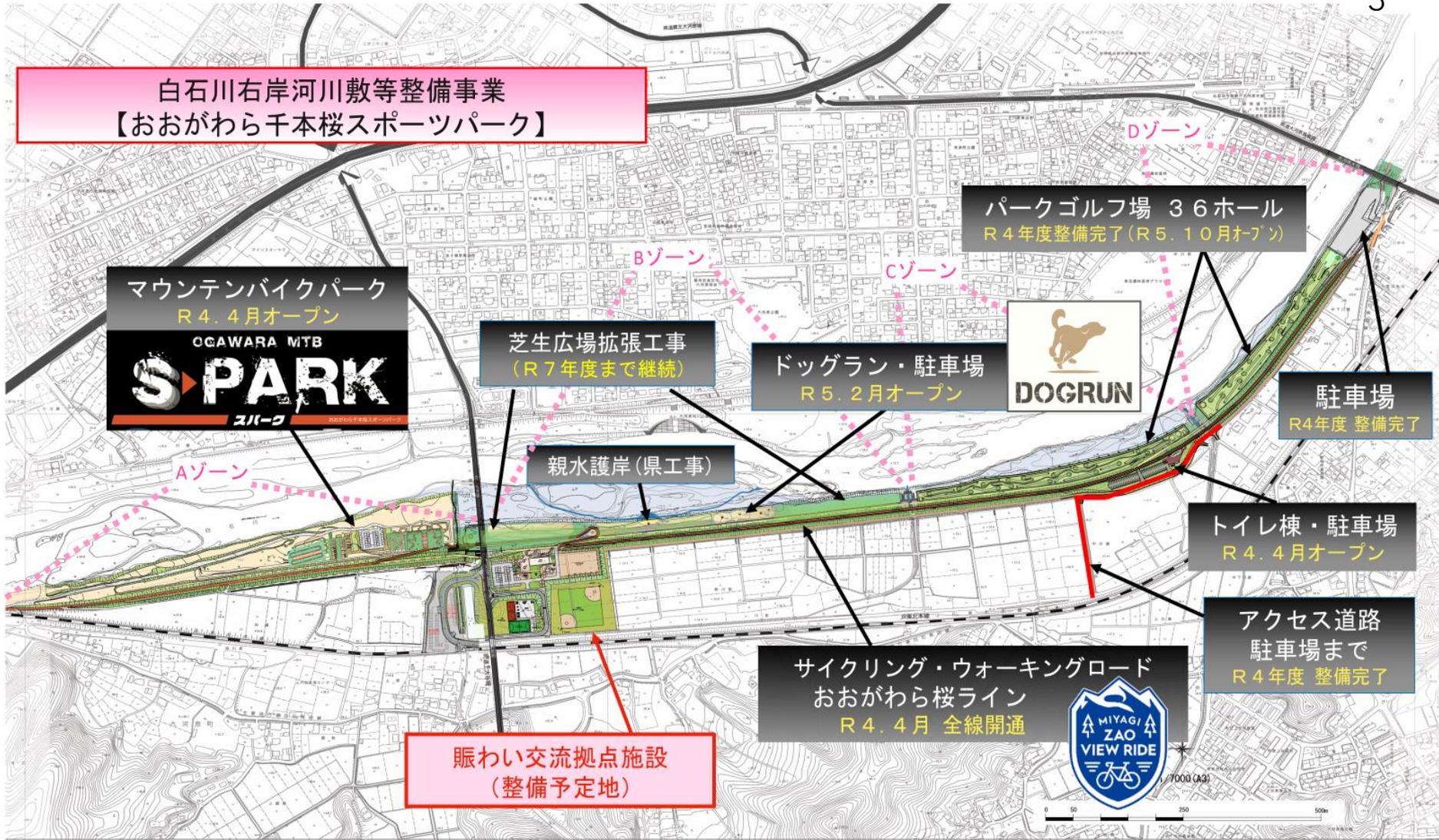
- ・ 水害対策や町民の皆様の健康増進に繋がるスポーツ施設等、子供から高齢者まで楽しめる新たな観光資源を創出することを目的とし、白石川右岸河川敷等に全長約3km、面積約12haの「おおがわら千本桜スポーツパーク」を整備しました。
（白石川右岸河川敷等整備事業 第1期）

『おおがわら千本桜スポーツパーク（賑わい交流拠点施設）』
整備に関する住民懇談会



名称	面積	おおがわら千本桜スポーツパーク
Aゾーン	約3.0ha	MTBパーク（S-PARK）
Bゾーン	約2.2ha	ドッグラン、親水広場、駐車場
Cゾーン	約1.3ha	パークゴルフ場
Dゾーン	約2.1ha	パークゴルフ場、駐車場
堤防天端	約2.5 ha	おおがわら桜ライン（約2.7km） ～サイクリング・ウォーキングロード～
天端一体 盛土部	約0.8 ha	トイレ、休憩エリア、駐車場（74台） パークゴルフ場管理施設

『おおがわら千本桜スポーツパーク（賑わい交流拠点施設）』 整備に関する住民懇談会



『おおがわら千本桜スポーツパーク（賑わい交流拠点施設）』 整備に関する住民懇談会



4



① サイクリング・ウォーキングロード

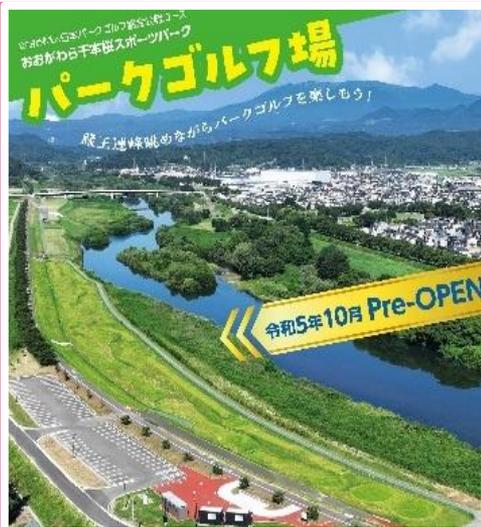
「みやぎ仙南サイクリングガイド」
のサイクリングコース。
(おおがわら桜ライン約2.7 km)



② OGAWARA MTB S-PARK(スパーク)

MTBプロライダー 井手川直樹氏が
デザイン監修を行った、日本初の河
川敷複合型MTBパーク。施設整備に
は、本町初のクラウドファンディン
グを実施。

『おおがわら千本桜スポーツパーク（賑わい交流拠点施設）』 整備に関する住民懇談会



③ パークゴルフ場

コースは、4コース36ホールで構成。公益社団法人日本パークゴルフ協会の公認コース。



④ ドッグラン

施設は、小中型犬用と中大型犬用の2スペースを設置。

⑤ 芝生広場

デイキャンプやバーベキュー、芋煮会、その他イベント等に使用可能。

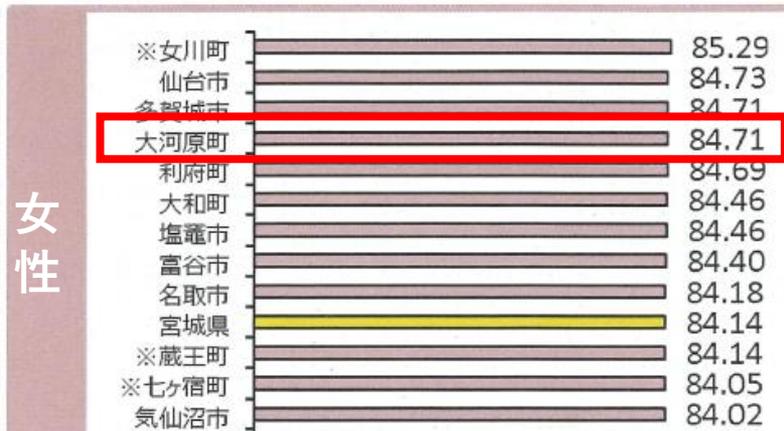
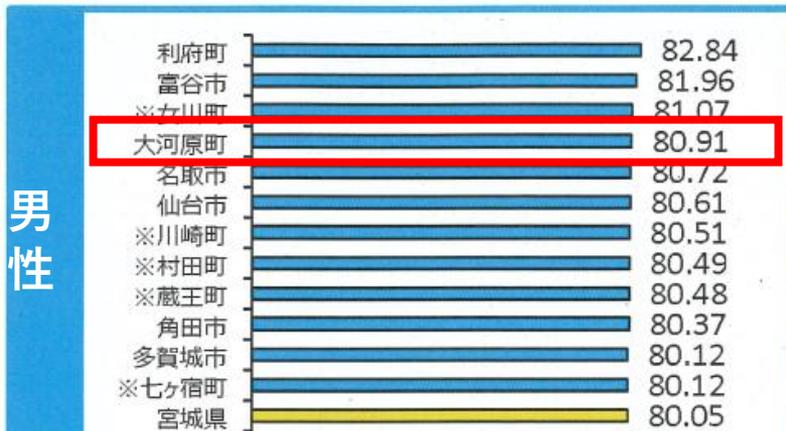
『おおがわら千本桜スポーツパーク（賑わい交流拠点施設）』 整備に関する住民懇談会



宮城県健康寿命ランキング

【市町村別の状況】

市町村別健康寿命（令和3年）



不健康な期間（平均寿命－健康寿命）（令和3年）



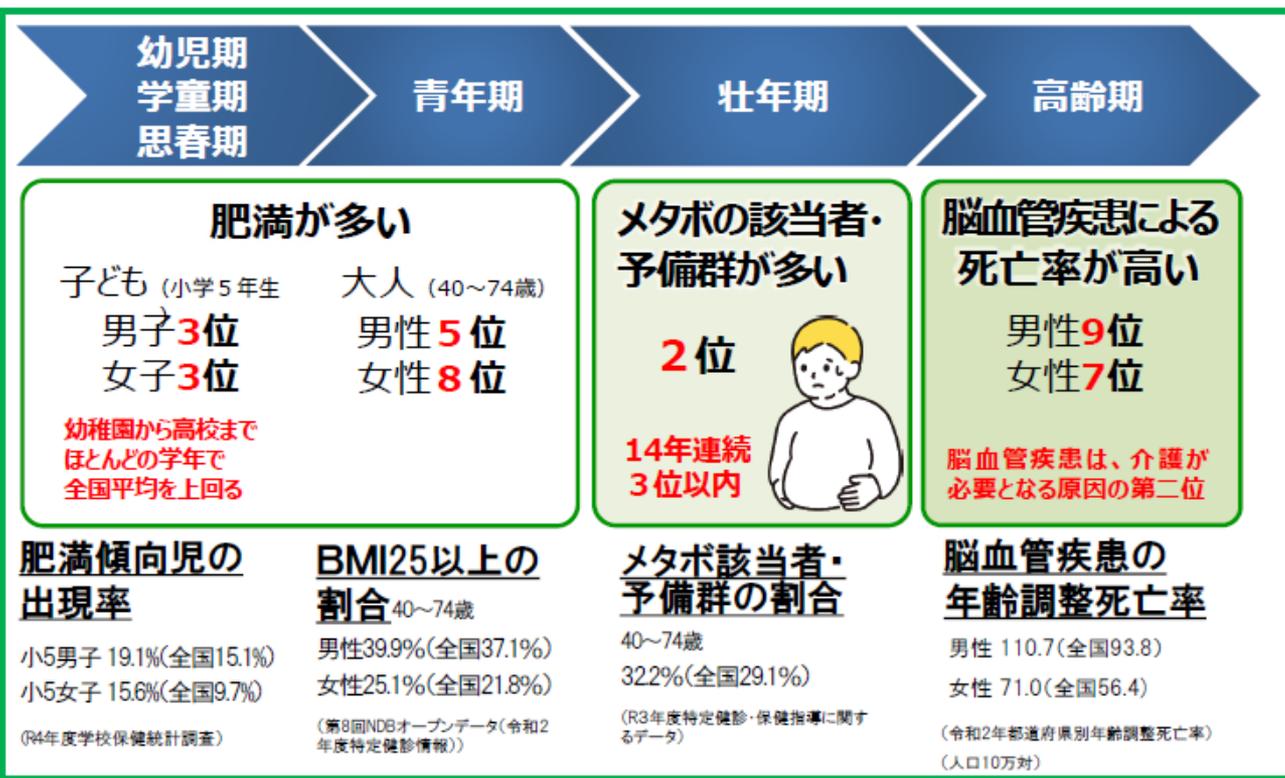
健康寿命：心身ともに自立し、健康的に生活できる期間。



県民の健康課題～各ライフステージに課題～



みやぎの健康課題





白石川右岸河川敷等整備事業（第2期）令和5年度～令和8年度

白石川を「水と桜のレクリエーション軸」に位置づけ、人や地域が「つながる」ことで新たな賑わいや広域的な意味を含めた地域の活性化を目指します。



基本コンセプト

『千本桜を千年先へ～桜が繋ぐ交流とスポーツの賑わいテラス～』

本町の将来に向けたまちづくりとして、「心身と社会が健康で幸福な状態が継続する **Well-being** なまちづくり」を推進します。

堤内地（田んぼ側）に「賑わい交流拠点施設」を整備します。「賑わい交流拠点施設」は、おおがわら千本桜スポーツパークの利用促進と機能拡充に繋げる施設整備を実施するとともに、植樹100周年を迎えた「一目千本桜」の情報発信や伝承を行うための空間形成と、地域の防災拠点施設の機能を兼ね備えた施設整備を行います。

『おおがわら千本桜スポーツパーク（賑わい交流拠点施設）』 整備に関する住民懇談会



スポーツ・健康まちづくり優良自治体表彰を受賞

スポーツを活用した特色あるまちづくりの取り組みを推進するため、スポーツ庁が全国を先導する優良な自治体を表彰する「スポーツ・健康まちづくり優良自治体表彰2022(令和4年度)」を受賞。

白石川右岸に千本桜スポーツパークを整備し、一目千本桜の新たな賑わいを創出することで、交流人口・関係人口の拡大につなげるとともに、町民のだれもが楽しみながら健康づくりができる「千本桜スポーツパークを活用したWell-Beingなまちづくり」の実現に向けた取り組みが評価されました。



『おおがわら千本桜スポーツパーク（賑わい交流拠点施設）』 整備に関する住民懇談会



『おおがわら千本桜スポーツパーク（賑わい交流拠点施設）』
整備に関する住民懇談会



【航空写真】



賑わい交流拠点施設整備予定地



『おおがわら千本桜スポーツパーク（賑わい交流拠点施設）』 整備に関する住民懇談会

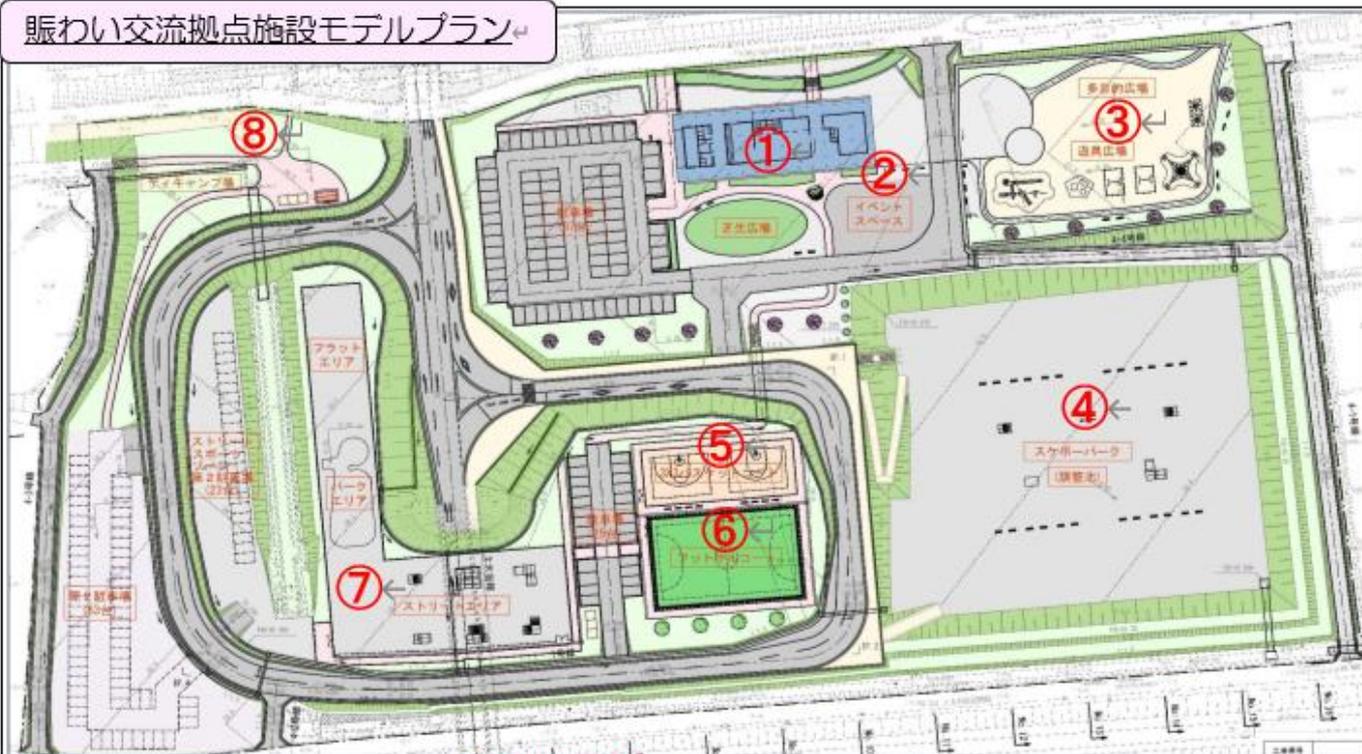


賑わい交流拠点施設

※施設の内容等に関して変更になる可能性がございます。



賑わい交流拠点施設モデルプラン



【① 交流施設】
 カフェ、レンタサイクル、桜の伝承施設、
 シャワールーム、防災備蓄倉庫



【② イベントスペース】
 キッチンカー等設営スペース



【③ 多目的広場・遊具広場】
 複合遊具等



【⑦ スケボーパーク】



【⑧ デイキャンプ場】



【⑤ 3×3コート】



【⑥ 屋根付きフットサルコート】



幼児専用遊具



【④ 調整池内スケボーパーク】



『おおがわら千本桜スポーツパーク（賑わい交流拠点施設）』 整備に関する住民懇談会



賑わい交流拠点施設モデルプラン

【交流施設イメージ】

カフェ、レンタサイクル、桜の伝承施設、
シャワールーム、防災備蓄倉庫



『おおがわら千本桜スポーツパーク（賑わい交流拠点施設）』 整備に関する住民懇談会



賑わい交流拠点施設モデルプラン

【多目的広場・遊具広場イメージ】



『おおがわら千本桜スポーツパーク（賑わい交流拠点施設）』 整備に関する住民懇談会



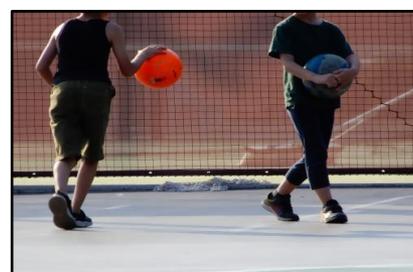
賑わい交流拠点施設モデルプラン

【イベントスペース イメージ】
キッチンカー等設営スペース



【3×3コートイメージ】

16



『おおがわら千本桜スポーツパーク（賑わい交流拠点施設）』 整備に関する住民懇談会



賑わい交流拠点施設モデルプラン

【屋根付きフットサルコートイメージ】

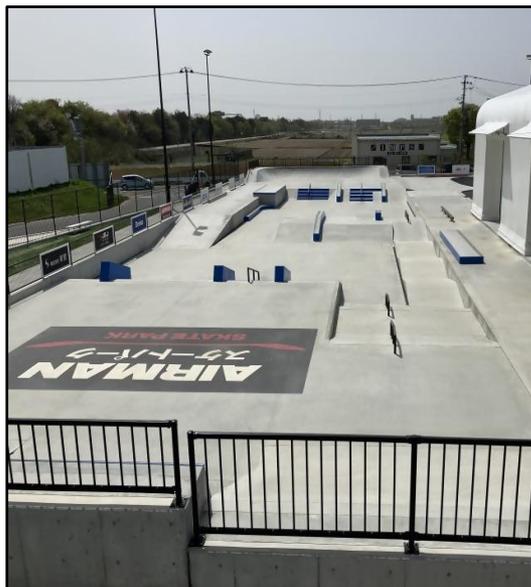
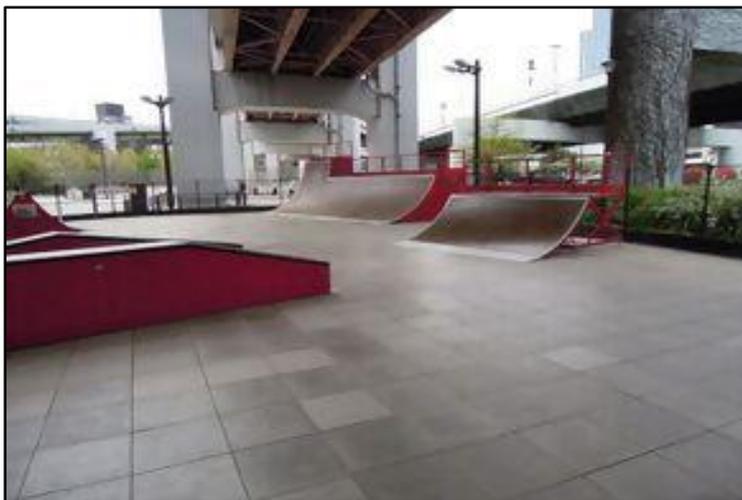
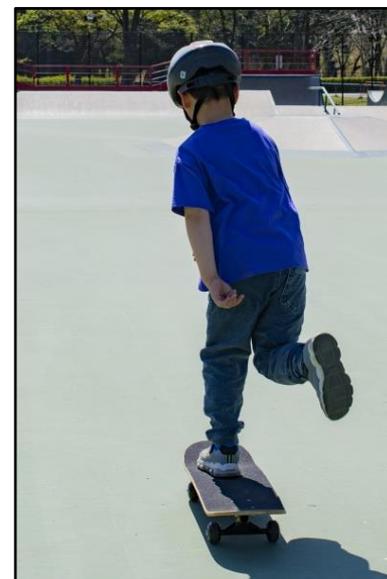


『おおがわら千本桜スポーツパーク（賑わい交流拠点施設）』 整備に関する住民懇談会



賑わい交流拠点施設モデルプラン

【スケボーパークイメージ】



『おおがわら千本桜スポーツパーク（賑わい交流拠点施設）』 整備に関する住民懇談会



賑わい交流拠点施設モデルプラン

【デイキャンプ場イメージ】



『おおがわら千本桜スポーツパーク（賑わい交流拠点施設）』 整備に関する住民懇談会



アーバンスポーツ

(アーバン = 都市の、都市的な)

主なアーバンスポーツ：
スケートボード、3×3、フットサル、BMX、
ボルダリング、スラックライン、パルクール等

若者のスポーツ離れ対策や健全な育成支援、国民の健康増進に貢献することを目的として、JOC（日本オリンピック委員会）は、若者に人気のあるスポーツとしてアーバンスポーツを普及、推進している。



2020年の東京オリンピック・パラリンピックでは、若者に人気のあるスケートボード、3×3、BMX、スポーツクライミング、サーフィンが採用された。

アーバンスポーツは、町中の道路や広場での遊びから生まれたスポーツで、音楽、ファッション、アート等、遊び感覚の高い若者文化と融合し、「楽しさ」や「ゲーム的要素」が多く含まれており、勝敗や順位よりも競技を純粋に楽しむスポーツとして若者を中心に広く受け入れられている人気のスポーツ種目になっている。

アーバンスポーツを活用した町づくりや観光資源づくりに市町村や県が取り組み、地域経済の活性化を図る事例が増加





賑わい交流拠点施設の整備手法

令和4年度

「賑わい交流拠点施設」の整備において、たくさんの皆様にご利用いただくために、施設内容や施設の活用方法等について、民間企業への調査（サウンディング調査）を実施。

令和5年度

サウンディング調査の結果から「賑わい交流拠点施設」の整備について、民間活力の導入を視野に入れ、官民連携手法導入可能性調査を実施。



官民連携手法を導入した施設整備・管理運営が有効

（官民連携手法導入のメリット）

施設整備
内容の充実

千本桜
スポーツパークとの
一体的な管理運営

施設整備費
の縮減

『おおがわら千本桜スポーツパーク（賑わい交流拠点施設）』 整備に関する住民懇談会

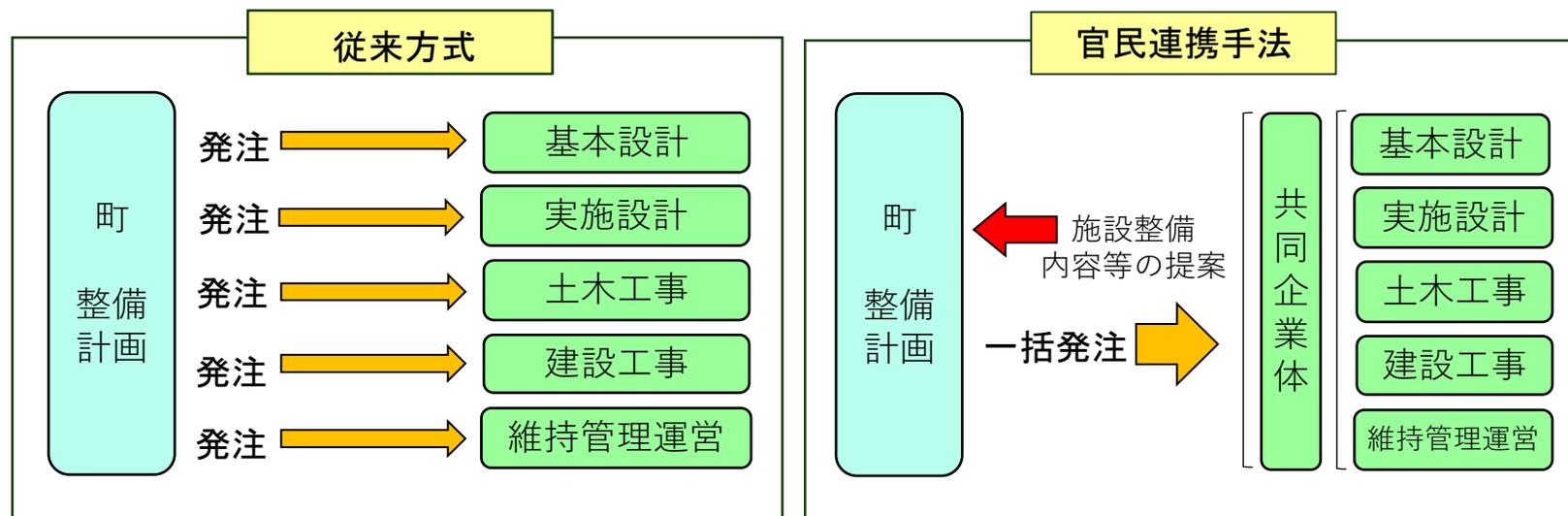


官民連携手法導入可能性調査の結果

本事業の実現のためのスキームを検討するとともに、民間事業者への意向調査や周辺自治体住民へのWEBアンケート等を反映した **モデルプラン** を作成し、施設整備費や維持管理・運営費の概算事業費を算定。これを基に、経済性において従来手法と官民連携手法を比較し、町の費用負担の縮減効果の評価を実施。

(消費税抜き)

設計・建築工事費	賑わい交流拠点施設	約 12.2億円
維持管理・運営費	千本桜スポーツパーク ※賑わい交流拠点施設を含んだ年額	約 1.2億円
VFM (官民連携手法による費用負担の縮減効果)	BTO方式(官民連携手法)	0.7%
	DBO方式(官民連携手法)	1.5%



『おおがわら千本桜スポーツパーク（賑わい交流拠点施設）』 整備に関する住民懇談会



今後のスケジュール

※工事や関係機関協議などの進捗状況により、スケジュールや内容が変更になる可能性があります。

令和6年度¹⁾

- ・盛土造成工事及び取付け道路整備（R6～R7）
- ・官民連携手法による整備・維持管理・運営業務への参画事業者募集（R6～R7）
※要求水準書及び募集要項の作成、公表。

令和7年度¹⁾

- ・盛土造成工事及び取付け道路整備（R6～R7）
- ・官民連携手法による整備・維持管理・運営業務への参画事業者募集（R6～R7）
※参画事業者の募集及び選定、事業契約。

令和8年度¹⁾

- ・官民連携手法による施設整備（スポーツ施設整備、交流施設建築等 R8～R9）

令和9年度¹⁾

- ・官民連携手法による施設整備（スポーツ施設整備、交流施設建築等 R8～R9）

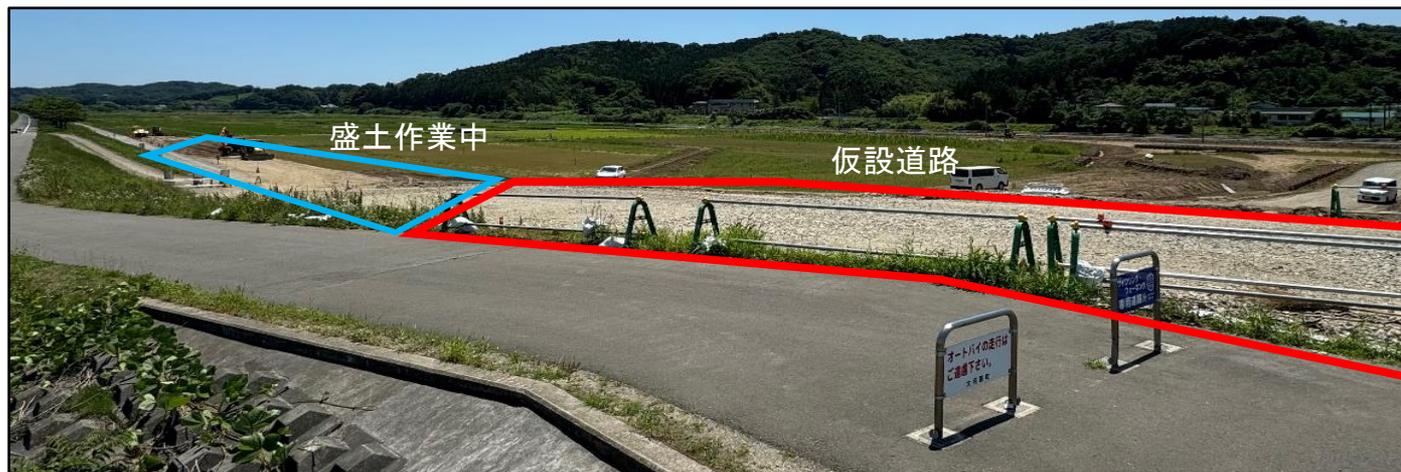
令和10年度¹⁾

- ・賑わい交流拠点施設オープン

『おおがわら千本桜スポーツパーク（賑わい交流拠点施設）』 整備に関する住民懇談会



賑わい交流拠点施設の現在の整備状況





ご清聴ありがとうございました。

整備に関する問い合わせ先

大河原町役場地域整備課都市計画係

連絡先：0224-53-2445

